

**日本航空株式会社/
日本エアコミューター株式会社**

小型機へのストレッチャー搭載の実現等による離島航空路線のバリアフリー化、食物アレルギーツアーの企画等によるユニバーサルツーリズムへの積極的な取組

- 小型機へ搭載可能なストレッチャー
仰臥した姿勢のままでも搭乗できるように、離島との医療搬送などの要望に対し、柔軟に対応が可能になった。



- 搭乗スロープ
搭乗橋を使用できない小型機向けに搭乗スロープを設置し、乗降の際の高齢者やお子様連れ等の不安を解消。今後配備を拡大し全便に対応予定。



- 食物アレルギー対応ツアーの開発・企画
旅行や外食に不安を感じるアレルギーを持った旅客が、安心して旅行できるように、グループの旅行会社等と連携し、事前にホテルの厨房の管理体制や現地の医療体制を構築。



札幌市交通局

乗降場のバリアフリー化、マナー教育の徹底等ハード・ソフト一体となったバリアフリーの実現

- 路面電車が道路の歩道側を走行する「サイドリザベーション」方式を採用
延伸区間について、歩道から電車に直接乗降することができるようにした。車椅子使用者の利用が伸びるなど、車両の低床化と併せ、安全性・利便性が大きく向上した。



- 可動式ホーム柵を全駅に設置
地下鉄全49駅で稼働式ホーム柵を設置。設置後の転落事故はゼロ。



- 高齢者、障害者等が安心して地下鉄を利用できる環境の整備。
「専用席」の設置を通じた利用者マナーの浸透、利用者への声かけの呼びかけ、全駅員を対象にした介助研修の実施等様々なソフト対策に取り組んでいる。



大阪市交通局

ホームドア整備にあわせた既存路線における車椅子使用者の単独乗降の実現

- 可動式ホーム柵の整備に伴いホームかさあげ等を実施し、車椅子利用者の単独乗降を実現
既存駅において、ホーム柵の整備に伴いホームを改修し、ホームと車両の段差・隙間を極小化。車椅子利用者が駅員の介助なく乗降できるようになるなど、様々な利用者の乗降の際の利便性・安全性を著しく向上させた。他社への波及が期待される画期的な取組である。



(施工前)



(施工後)

- トイレの機能分散を進め、利便性を向上
トイレリニューアルに併せ、一般便房を簡易型の多機能便房とするなど、可能な限りの機能分散を推進。多機能便房の混雑緩和に取り組んだ。



- 当事者団体との意見交換等に基づくスパイラルアップの実施
バリアフリーの取組について、高齢者、障害者等の関係団体と意見交換や実証実験を行い、改善に取り組んでいる。

**鳥取県/日本財団/
鳥取県ハイヤータクシー協会**

官民一体となった先駆的なタクシーのバリアフリー化

- 県内タクシーの1/4をUDタクシー化
日本財団の支援により、誰もが移動しやすい新たな地域交通モデルの構築を目指し、県内全タクシーの4分の1にあたる200台をUDタクシー化。「広い」、「乗りやすい」等の高い評価を得ている。



- 利用環境整備(UDタクシー乗り場整備)
鳥取県は、県の玄関口である空港・駅を中心にUDタクシー専用乗り場の整備、乗降場案内板の整備、歩道と車道の段差解消を進めている。



- 県内全タクシー乗務員へのユニバーサルドライバー研修の推進

鳥取県ハイヤータクシー協会は、障害当事者の声を直接聞く機会を設けるなど、接遇向上に向けた「ユニバーサルドライバー研修」を県内の全乗務員を対象に進めている。



自立支援センターおおいた

障害当事者による多面的な自立支援サービスの提供

- バス運転手を対象としたバリアフリー研修
障害者と事業者の歩み寄りを図るべく、運転手向けの研修を実施。障害当事者が運転手と実際のバス停を回り、バス停ごとの注意点を共有しつつ車椅子の乗降体験を行っている。



- ユニバーサルデザイン出前授業
子供の頃からユニバーサルデザインに関心を持たせることを目的に、大分県と連携し出前授業を実施。障害当事者の目線からの説明や体験学習の機会を提供している。



- 現場レベルのバリアフリー調査の実施
公共施設等の設備について支障の有無を調査する「バリアフリー探検」を実施。「啓発」目的の場合には健全者とも協働。また、道路等について、街歩きイベント形式の調査を実施し、街づくりに貢献。



- 上記のほか、以下の取組を推進
・バリアフリーマップの作成・公表。
・バリアフリーツアーセンターを開設し、観光施設等調査や情報発信等を実施。
・旅客施設、宿泊施設等に対するコンサルティングを実施。